

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

二ツ橋第二地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

二ツ橋第二地域ケアプラザ（以下、ケアプラザという）は、瀬谷第四地区（一部二ツ橋地域ケアプラザと重複）と相沢地区をエリアとしています。

29年度実施した4種類の高齢者対象のアンケート調査により、日常生活での課題の多い順で「重いものを運ぶ」「掃除」「外出」等がありました。いざというときに頼りになるのが「親族」の次に「近隣の住民」・希望する地域活動は、「カラオケ」や「ウォーキング」のニーズの多い地域がある等の結果が把握できました。

両地区とも、連合自治会と同じエリアで組織されている地区社会福祉協議会（以下、地区社協という）とも連携が保たれています。重複するエリアでは、地域の方々が不便を感じないように、同じ市社協（以下「法人」）が運営する二ツ橋地域プラザと連携を密に取っています。

瀬谷第四地区全体は、高齢化率 27.8%・要介護認定率 19.6%となっています。

サロン事業やラジオ体操などが多く行われており、地区社協、連合自治会・町内会（以下、連合自治会という）、地区民生委員児童委員協議会（以下、民児協という）の連携が取れて、「第四地区のきずな」や「女性ボランティア」事業が、活発に行われています。

また、子供支援事業の「よんたくん広場」も定期開催に向け実施され、28年度の地域アンケートにより実施した地域活動フォーラムで生まれたボランティアグループ「よんたくん倶楽部」の育成も進んでいます。

相沢地区は、高齢化率 26.2%・要介護認定率 19.4%となっています。

この地区では食事会やサロン事業が行われており、地域住民による日頃のさりげない見守り活動による、災害時の助けあいや孤独死などのない地域を目指しています。同地区はケアプラザまで距離があるため、地域の活動拠点として、諏訪神社社務所か瀬谷センターを利用しており、ケアプラザとしては、出前講座・地域での健康事業の開催などを積極的に多く進めました。

両地区とも高齢化率が高く、要介護認定の方々のうち、要介護1・2の方の占める割合が高い状況です。さらには、地域活動に活発に取り組んでいる反面、世代交代にもなう人材不足が課題となっています。

【取組概要】

- (1) 担当地区の連合自治会、民児協、地区社協の定例会に出席し、地域情報を得るとともに、地区支援会議や地区支援チーム会議においても情報を共有しました。
- (2) 地域行事（祭りや運動会・防災訓練など）や地域サロンにも積極的に参加し、地域との関係づくりや個別の相談や情報提供に努めました。
- (3) 瀬谷第四地区「女性のボランティア」について、会議や研修会などの運営支援や広報活動の支援など事務局機能の一部を担いました。
また、第四地区社協の人材育成や子ども支援事業の推進を支援しました。
- (4) 相沢地区内のサロン活動などの場などに出前講座を実施するとともに、地域の会場などを利用し、介護予防事業や体力測定会などを多く進めました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- 区や関係機関との情報共有を行い、速やかな対応に努めました。相談受付票を地域支援の視点も含めて記載するとともに、相談内容を分析、5職種で共有し、軽微な相談内容も記録することを心掛けました。
- 定例の区・区社協・ケアプラザの会議において、個別支援の情報を共有するとともに、地域性・個別性に沿った対応を行いました。また、必要に応じ継続的にフォローしています。
- 相談内容に即して、せやまる・ふれあい館内の施設と連携し、専門性を活かした支援を行いました。
- 三ツ境養護学校評議員として関わり、養護学校に通う重症心身障害児を対象とした余暇支援事業「みーとすまいる」の実施について学校との協力体制の構築を行いました。
- 地域の福祉情報コーナーとして、開かれた地域の情報収集や提供の場として多くの方が来館し、社会参加につながっています。
- 区高齢障害支援課を始め行政機関、地域の施設や民間事業所など多様な機関と連携することにより、個人が安全でその人らしく生活できる環境の確保を行いました。

(3) 各事業の連携

- 月1回、区・区社協職員とのカンファレンスを実施。包括3職種と地域交流コーディネーター（以下「C0」という）と生活支援C0が参加し、個別ケースの共有・地域支援状況の確認・地域の情報交換を行いました。
- 地区民児協に包括3職種だけでなく、地域交流C0と生活支援C0も輪番で参加し、各地域の状況を把握し、常勤職員会議で提供、全職員が共有するようにしました。
- 個別ケースにおいて、介護保険外のインフォーマルサービスが必要なケースは、包括と生活支援C0が情報共有を行いながら、相談に同席・同行訪問を行いました。
- 女性ボランティアの定例会には、生活支援C0と包括職員が参加し、講座の企画も合同で行いました。
- 35歳～64歳の働き盛りの世代に対する「健康講座」を包括・地域交流C0と合同で企画し、ケアプラザ協力医や栄養士・パーソナルトレーナーによる講義・実践を行いました。
- 区社協と包括・生活支援C0合同で、民生委員児童委員研修とし、障害理解講座を実施しました。
- 地域の会合や行事・地域情報については、全職員で「地域支援記録」に記録し、定期的に回覧・共有しており、瀬谷第四地区の南側担当の、二ツ橋地域ケアプラザとは、月一回地域支援記録を共有し、両ケアプラザが一体となって地域支援に臨める体制を整えました。
- 認知症カフェの機能を持たせた「ほっこりカフェ」（コミュニティカフェ）の担い手育成のための開設講座は、社会福祉士と生活支援C0とが共催で行いました。講座の参加者向けに、地域課題と総合相談で把握した生活課題を基に作成した地域アセスメントの共有や、開催に向けてのスキルアップや認知症の方への接し方などを学ぶ機会を設けました。その結果、プレ開催に至ることができ、また担い手のボランティアの方々をカフェボランティアとしてつなげることができました。
- 高齢化率40%を超える上楽老峰自治会の支援として「年末・クリスマスを楽しむワイン講座」では、地域活動交流・生活支援C0が共催で行い、若い世代への地域活動の担い手発掘のきっかけ作りとして交流の機会を設けました。
- 当ケアプラザの地域活動交流C0が、法人の「5職種連携プロジェクト」の一員となり法人全体の連携についての研修会を開催、それにケアプラザの全職員が参加し連携強化のための事例検討を行いスキルアップしました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 今年度は、4月より主任ケアマネジャー（以下「ケアマネ」という）が異動により替わり、12月には、保健師が産休に入りすぐに代替の職員が配置になりました。そのため包括支援センターの職員は大きく変わったものの、サービスのレベルを変えることの無い体制を保つことができました。
- 法人の「人材育成計画」に基づく職員研修を進め、「基幹研修」「課題別研修」出席者の報告書提出や職場内への伝達研修も実施し、職員全体会議の中で人権・個人情報・普段の窓口対応・緊急時の対応等の内部研修を行いました。
- 「求められる職員像」による自己評価やケアプラザの運営・業務推進の自己評価を進め、振り返りを行いました。
- 全常勤職員は、市社協の方針に基づくケアプラザの方針に沿った個別目標を年度毎に設定し、業務を行い、年3回以上定期的に自己評価や上司からの面談により評価・指導を進める「人事考課制度」を実施しました。（管理職はMBO制度）
また、非常勤職員の業務評価制度も今年度より行いました。
- 職員育成については、市社協で作成の「地域ケアプラザ基本指針」「地域ケアプラザ業務指針」「5職種連携のあり方（保健師等、主任ケアマネ・社会福祉士・地域活動交流C0・生活支援C0）」「地域ケアプラザ自己評価シート」「地域ケアプラザ業務に取り組む姿勢」、「地域ケアプラザ職員のあり方」（地域活動交流・生活支援C0編）に基づき、定期的に各業務を振り返り、スキルの向上を意識したサービス提供を進めています。
- 生活支援体制整備事業の推進を、「生活支援体制整備事業の手引き」（健康福祉局）、「生活支援体制整備事業への本会の考え方」（法人）に基づき各部門の連携を進めました。
- ケアネットワークや各種専門職の連絡会を通し、区内サービス事業所の情報を収集し、ケアプラザ内で共有し特定事業者への偏りを防いでいます。
- 月例の所内ケアマネミーティングで、特定の事業所に偏らないよう確認しています。
- 市社協のコンプライアンスハンドブックを全職員が携帯し、法令や内部規定の遵守を意識し公平中立な立場で業務にあたっています。
- 毎月の職員会議で法人内部での事故・事件を報告し、改善について検討し、普段の業務に反映できるようにしています。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 毎月の連合自治会、民児協、地区社協の定例会に参加し、情報収集やケアプラザからの情報提供を行いました。また区行政との地区支援チーム会議や区保健師とのケアカンファレンスにおいて地域から得た情報を共有しました。
- エリア内のボランティアを対象とした交流会を開催。今年度からシニアクラブや自治会役員も含め幅広い地域活動の方々同士のつながりを深めることができました。
- 後見的支援室や機関相談支援センター、区社協と連携し、民生委員対象の障害者の権利擁護講座を開催。権利擁護の視点から各相談機関の連携を深める機会となりました。
- 単位町内会が行う防災訓練や新年会などに出席し、関係構築を図ることができました。また通いの場の参加者を対象として行った生活課題アンケートの調査結果を整理しました。町内会毎にニーズを整理し、単位町内会毎にアセスメントを行いました。
- 女性のボランティアの運営支援として議事録作成や定例会開催支援などを行いました。また、研修ではヘルパーサービス責任者やグループホームの管理者を招き、緊急対応や認知症対応研修を行ったことを通じて女性のボランティアと専門職とが連携を深める機会となりました。
- 介護予防グループ「虹のかけはし」の協力で「体力測定会」を東野園、瀬谷小学校などで開催、日頃ケアプラザに参加の無かった相沢地区の方や男性の方などにも多く参加頂き、介護予防を広く普及啓発する機会になりました。

- 地域で行っているインフォーマルサービスを広く周知するため、ケアマネスキルアップ講座で、「ケアプラザのエリアのインフォーマルサービスを知ろう」を開催しました。
- ケアマネと民生委員児童委員の交流会で、事例検討を行いました。
- 「ほっこりカフェ」開設講座を小規模多機能施設の「咲くや愛成」と共催で開催し、企画と当日の運営だけでなく、施設利用者ご家族の声などを集約、講座参加者と共有し、地域アセスメントに反映、同法人の特別養護老人ホーム「愛成苑」の場所の提供など、ケアプラザの強みを活かした役割分担での連携ができました。
- せやまる・ふれあい館管理委員会にて、同館にある事業所との連携を図り、現状の課題や進捗状況の確認を行いました。

(6) 区行政との協働

- 第三期地域福祉保健計画の推進において、より地域に近い位置づけで事務局の立場で動くと共に、シンポジウム開催を通じて地域住民が理解を深める機会を作ることができました。
- 職員が各種定例会やサロンに参加して収集した情報を地区支援チームと情報共有を行い、地区支援の内容について適宜確認・調整・役割分担を行いました。
- BCP（災害時事業継続計画）の改訂を実施し、全職員での確認を研修で行いました。
- エリア内のボランティアを対象としたスキルアップ講座「ボランティアカフェ」では瀬谷消防を講師として招き、危険予測と緊急時の応急処置の実技講習を行いました。
- ウォーキングポイント事業に協力し地域のサロンの場で情報提供を行なった結果、申込者が増えました。

【瀬谷第四地区】

人材育成の取組については、地域活動に関するアンケートの回答者を対象にした、「地域活動フォーラム」を実施し、進捗を地区支援チーム内で共有しながら、打合せの前段での各メンバーとの調整を区役所と協力して行いました。結果、参加者それぞれの強みを反映できる機会として「よんたくん倶楽部」の企画・開催を行うことができました。

【相沢地区】

- ・「ふれあいのつどい」で、地域福祉保健計画の紹介ブースを地区支援チームと共に運営し、広く多世代へ地域福祉保健計画を周知する機会となりました。
- ・今年度新たに地区社協の役員となった方々を対象に、区福祉保健課と協働しながら地域福祉保健計画のミニ研修を地区社協の定例会内で開催しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 地域の活動の場に参加し、その中で得た情報を各職種間で共有し、課題把握に努めました。今後も継続予定です。
- サロンやシニアクラブ等での出前講座においてアンケートを実施し、その分析結果を各職種間で共有し、今後の事業の方向性について検討をしています。
- 広報紙の発行は、下半期の発行分からカラー印刷で毎月発行しました。今後も定期的な発行を予定しています。また、HP情報の更新についても検討を進めます。
- 区社協と共に地域支援計画書を作成し、振り返りや見直し、地域情報の共有と支援の方向性の検討を行いました。
- 二ツ橋ケアプラザの包括・生活支援C0と共に、瀬谷第四地区の情報共有や、連携の取れた支援を検討しました。今後も継続を予定しています。
- 余暇支援事業「みーとすまいる」を2回開催。今年度開所した横浜市多機能型拠点「こまち」との連携を通じ、新たな参加者やプログラムの拡充につなげました。また、相沢地区・瀬谷第四地区の地区別計画に沿って、障害理解促進事業への支援を行いました。

- 第四地区社協子ども支援活動「よんたくん広場」への支援を継続して行い、今年度は3回の実施となりました。地域の中でも広まりつつあり、定期的な開催を目指します。
- 中屋敷地域ケアプラザと協働し、せや福祉ホームで「音の駅」を開催しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ケアプラザは、瀬谷第四地区の活動団体や地域の助け合いの会「女性のボランティア」の活動拠点として、定着しつつあります。
- 「せやまるギャラリー」の利用は、館内行事や定期的な展示に限らず、新規の展示もありました。
- 毎日の利用状況はパソコン上で把握できるようになっており、台帳と合わせ利用者からの問い合わせや申し込みに、どの職員も早く対応できるようになっています。
- 今年度より団体区分等の利用方法が変更になったため、活動情報台帳を新様式に更新するなど受付等の事務処理の効率化を進め、円滑な対応をしました。
- 利用団体交流会を3月2度開催、30年度からの変更点の説明や新しい利用方法についての意見を聞き、さらに団体相互の情報交換を行い、横の繋がりを強化しました。
- 12月に開催した「せやまる・ふれあい祭り」では、地域のボランティア団体や貸館登録団体の活動紹介やねんりんピックキャラバン等を行いました。また隣接の横浜市多機能型拠点「こまち」も参加し、施設内覧や健康チェック等を行い、当日は約460名の参加がありました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 瀬谷第四地区における人材育成については、「よんたくん倶楽部」の立ち上げ等、地区支援チームと共に支援を行いました。継続的な活動に向けて、引き続き支援を進めます。
- 地域の子ども支援事業の「よんたくん広場」は地区社協が主体で、地域の活動希望者と共に3回開催しました。参加者である小学生もリピーターが増え、地域での認知度が高まってきており、そのため、今後の定期的な開催が期待されています。
- 瀬谷第四地区「女性のボランティア」の事務局として、定例会の議事録作成、研修会の企画などを行いました。研修では、緊急対応研修や認知症の方への接し方講座をヘルパー事業所やグループホーム協力のもと開催し、知識や心得を学ぶだけでなく、専門職との連携を深めるきっかけとなりました。
- 相沢地区の「助けあいの会」は、協力頂けるメンバーの募集など今後の組織作り等の支援をさらに継続します。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域の活動や情報について、各職種間で共有し、課題の検討につなげ、また二ツ橋地域ケアプラザとも同様に情報共有・課題検討を行いました。
- 総合相談システムであがった生活課題の相談傾向をデータ化し、運営協議会等に情報提供し地域で共有しました。
- 情報共有・課題検討をふまえ、地域アセスメントシートの更新・作成を適宜行いました。
- 広報紙の発行や掲示板を活用し、地域への情報発信を進めました。広報紙の定期的な発行、HP情報の更新等、検討を進めていきます。
- 区社協と共に地域支援計画書を作成し、地域情報の共有と支援の方向性の検討を行いました。
- 地区支援チーム内で適宜情報共有や課題検討をし、共に地域支援を進めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 所内の全職員を対象に業務内で把握した社会資源を情報集約するキャンペーンを期間限定で開催。集まった情報を地図に可視化することで、所内全員が生活支援体制整備事業を意識し、情報共有をし合える環境づくりを行いました。
- アセスメントシート、社会資源リスト、人口統計などの各種データを非常勤職員にも回覧し、日頃地域支援に関わりの無い職員が関心を深める取り組みを行いました。
- 総合相談システムであがった生活課題の相談傾向を四半期に一度所内で共有し、各種アセスメントへ反映させ、より精度の高いニーズ把握・分析を行いました。
- 移動販売などの業者もあるため、ケアプラザのエリア内外問わず生活支援に関わりのある商店や移動販売業者の情報収集を行いました。またケアプラザ事業への協力として、笹野台地域ケアプラザに対し移動販売業者を紹介し、買い物困難に関する協議体などに協力をしていただきました。
- 生活支援 C0 連絡会で、日頃地域活動に関心が薄い方々に対して体制整備事業の普及啓発として、区社協ボランティアメニューへの記事の掲載を定期的に行い、レストランや居酒屋などで気軽に事業に触れられる機会となっています。
- 認知症カフェの機能を持たせた「ほっこりカフェ」(コミュニティカフェ)は、包括社会福祉士とボランティア育成講座を開催する中で、29年度行った地域のニーズ把握で明確になった生活課題を基に、ボランティアとの課題共有・認知症理解促進等を進め、プレ開催に至りました。

(2) 地域アセスメント (ニーズ・資源の把握・分析)

- 通いの場への訪問や要支援者対象のアンケートの結果や総合相談で把握した生活課題をアセスメントに反映させ、地域住民との共有や講座への活用を行いました。
- 地域サロンや食事会、シニアクラブで地域の社会資源や生活課題のヒアリングを行ったほか、生活課題に関するアンケートを行いました。
 - 生活課題のアンケートは通いの場の参加者を対象に行ったほか、区生活支援 C0 連絡会でも要支援者と総合事業対象者を対象に行いました。
 - 総合相談システムを活用しエリアごとに整理された生活課題を四半期に一度所内で回覧しました。
 - 単位町内会のアセスメントシートを作成し、地域課題や社会資源、キーマンの整理を行いました。
 - 個別ケースにおいて、介護保険外のインフォーマルサービスが必要なケースは、包括と生活支援 C0 が情報共有を行いながら、相談に同席・同行訪問を行いました。

(3) 連携・協議の場

- 瀬谷第四地区「女性のボランティア」の事務局として、定例会の議事録作成、研修会の企画などを行いました。研修では、緊急対応研修や認知症の方への接し方講座をヘルパー事業所やグループホームの協力のもと開催し、知識や心得を学ぶだけでなく、専門職との連携を深めるきっかけとなりました。
- ケアマネ対象の研修でインフォーマルサービスの担い手との交流会を開催し、ケアマネとインフォーマルサービスの担い手とが連携についてどのような方法があるか検討する機会を設けました。
- 認知症カフェの機能をもつ「コミュニティカフェ開設講座」では、講座の第1回でケアプラザが把握する社会資源や生活課題などのアセスメントを参加者とともに共有し、ニーズやカフェの必要性を理解した上で講座に臨むことができました。また、本講座では広報の方法を多様な手段で行い、新たな担い手を多く確保することができました。

○エリア内のボランティアを対象にスキルアップや交流を目的とした講座「ボランティアカフェ」を開催しました。専門職との連携についても言及があり、どのように連携したらよいか検討する機会になりました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 生活支援 C0 連絡会として要支援の認定を受けている方、総合事業対象者を対象に生活課題アンケートを行い、エリア別、区域の生活課題を整理しました。
また、このアンケートを地域のケアマネと協力し行ったことで、生活支援 C0 と接する機会ができ、連携できるきっかけづくりとなりました。
- ケアマネ対象の研修でインフォーマルサービス担い手との交流会を開催、ケアマネとインフォーマルサービス担い手が連携を深めることができました。
- 法人内の研修で、2層生活支援 C0 を対象に各 C0 が抱える課題に対し、講師からスーパービジョンを受ける機会を設けました。1年間体制整備事業を経験した C0 だからこそ、事業の目的や手法などが充分理解された上で悩みが挙げられており、解決策も実践的なものが多く提示され、C0 が自身の業務を見直す機会となりました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- 地区民児協など地域の福祉保健関係者の会合に出席し、地域情報や地域課題の把握をするとともに、包括の役割を周知しました。
- 区役所・区社協と月例会議を開催し、個別事例から掲げられる地域課題を共有する機会としつつネットワークの構築に努めました。
- 地域のサロン事業などにおいて、出前講座を開催しました。
- 5 包括合同で、「ケアマネと病院医療ソーシャルワーカーの連絡会」を開催し、顔の見える関係を構築するとともに、情報交換を行いました。
- 区内 5 包括・生活支援 C0 合同で、インフォーマルサービスマップの更新を行いました。
- 区内 5 包括・区役所・区社協で協力し、医療情報マップを更新しました。
- 地区民児協などで把握した課題を基に、民生委員とケアマネの交流会を行いました。

② 実態把握

- 町別に整理した高齢化率、要介護認定率を運営協議会や地域の通いの場で共有し、介護予防・社会参加の啓発に活用しました。
- 通いの場への訪問や各アンケートの結果で把握した生活課題をアセスメントに反映させ、地域住民との共有や講座への活用を行いました。
- 総合相談や個別訪問に生活支援 C0 が同席・同行訪問を行い、活動拠点となる社会資源や活動へのニーズを把握するとともに、相談者の意向に即して、生活支援 C0 がインフォーマルサービスの橋渡しの役割を担い、利用後の状況把握にも努めました。
- 今年度からケアプラザ独自で作成した総合相談票と相談台帳を一括で管理できるシステムを導入しました。相談者の日常生活課題を集計し、地域別の傾向をグラフ化したものを四半期ごとに全職員で共有することで、地域課題の把握や地域支援の根拠として活用しています。また、地域活動や相談・立ち話で得た地域の情報を記録する地域支援記録を全職員で取り組み、定期的な記録の回覧を通じて、全職員が共通認識を持って地域支援を行える体制を整えています。

③ 総合相談支援

- 相談窓口担当者を置くことによりスムーズな相談対応につなげました。また、包括職員が不在の場合は他職員が対応し、的確に包括職員につなぐことができるよう対応マニュアルや簡易な受付票を整備し、相談者に不利益が生じないよう配慮しました。
- 包括の役割や活動内容について広く地域住民に認知してもらうため、地域の会合などへの出席や出前講座などを通し周知を行いました。
- 定例の区・区社協・ケアプラザの会議において、個別支援の情報を共有するとともに、地域性・個別性に沿った対応を行いました。
- 館内の区社協・生活支援センターなど他施設と連携し、各施設の特色を活かしたより専門性の高い支援につなげています。
- 開かれた地域情報収集の場として多くの方が来館し、社会参加につながりました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 成年後見サポートネットワーク連絡会に参加し事例検討を通し、適切な支援方法について多職種で検討し支援に活かしました。
- 親族申立行う家族に対し、申立書類の作成や家裁への申立同行などの支援を行い、後見人選任につなげました。
- 後見的支援室や基幹相談支援センター、区社協あんしんセンターとの連携で、民生委員対象の障害に関する権利擁護講座を開催し、権利擁護の視点から各相談機関の連携を深める機会となりました。
- 区社協と共催で「瀬谷区版エンディングノート講座」を皮切りとした連続講座を開催しました。家族や自身の「老い支度」について学び、その人らしく生きることを考え話し合う機会となりました。
- 消費生活センターの「見守り新鮮情報」などの活用や瀬谷警察署・生活安全課と協力し、地域の食事会やサロンにおいて振り込め詐欺や消費者被害の注意喚起、衣食住の生活に則した情報提供を行いました。

② 高齢者虐待への対応

- 連合自治会・民児協・地区社協の定例会、地域団体の活動やケアプラザの自主事業などを情報が得られる場として捉え、職員が交代で出席し活用しました。虐待が疑われるケースについては訪問し状況確認を行い、区役所やケアマネ等の関係者と連携・役割分担を行い継続的にフォローしました。
- 月例のケア会議や社会福祉士分科会にて虐待が疑われるケースについて共有し、区役所や同職種間で意見交換を行い、実務での支援方法として役立てました。
- ケアマネ対象の虐待研修に協力し、認知症状チェックのための、サインチェックシートの周知・活用を促しました。また、民生委員にもサインチェックシートの周知を行い虐待の早期発見・防止に努めています。
- 定例で介護者のつどい「ふれあい」を開催し、元気に介護が続けられるよう心身のリフレッシュ、孤立しない仲間作り、介護に役立つ情報提供の場となるようプログラムを実施しました。ひと息つける「憩いの場」として地域に定着するよう継続して取り組みます。

③ 認知症

- エリア内の小学校（相沢・瀬谷・二つ橋）3校で認知症サポーター養成講座を実施し、子どもたちが認知症を正しく理解し、身近な高齢者を思いやる気持ちを育む機会となりました。講座実施に向けては、キャラバンメイト主体で学校側との調整を図り、ケアプラザ・区役所は後方支援を行いました。また、第5回コミュニティカフェ開設講座「認知症の方との接し方」において講師として参加し、地域で活動するボランティア同士の交流の機会ともなりました。
- 元気に介護が続けられるよう心身のリフレッシュ、孤立しない仲間作り、介護に役立つ情報提供の場となるようプログラムを実施しました。若年性認知症の妻を長年介護した経験者を講師に迎え、先の見えない介護の精神的・経済的不安など経験に基づいた具体的な話を聞く貴重な機会となりました。
- 第四地区社協の「よんたくん徘徊ネットワーク」シミュレーションに協力し、参加した地域の方々の認知症理解促進を進めました。
- 瀬谷区徘徊ネットワークの1機関として、他機関から徘徊者の情報が送られてきた際は、直ちに事務所にいる職員に伝達し、外出時等に捜索協力するよう伝える体制を取っています。また、事務所内に掲示して周知しました。
- 区内の医療機関へヒアリングを実施し、認知症が疑われる患者への対応状況、「フロー図」「これを持ってかかりつけ医に行こう」などの活用状況、ケアプラザの活動・役割の周知を行い、医療と福祉の連携促進を図りました。
- 介護予防部門と共催し、前半に協力医による認知症講話、後半に管理栄養士による栄養講座を開催しました。座学と実技を同時に学ぶことで、参加者が認知症への理解を深める相乗効果となりました。
- 認知症カフェの機能を持たせた「コミュニティカフェ」の開設講座を生活支援C0と共催で行いました。参加者に対し、地域課題と総合相談であがった生活課題を基に作成した地域アセスメントの共有や、カフェ開催に向けてのスキルアップや認知症の方への接し方などを学ぶ機会を設けました。その結果、コミュニティカフェのプレ開催に至ることができ、また新たにボランティア活動を始める方をカフェボランティアとしてつなげることができました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 地区民児協の会議での意見をできる限り反映できるよう、内部での情報交換や民生委員との情報交換を行い、困難ケースへの対応にも努めました。
- 民生委員児童委員研修の一環として、「障害理解講座」を実施しました。
- 隔月程度で開催されるエリア内のグループホームや小規模多機能型居宅介護の運営推進会議に参加し、施設職員・介護の当事者・自治会・民生委員などの福祉保健関係者との意見交換を行いました。
- 地域交流部門と合同で、協力医・管理栄養士・臨床心理士・パーソナルトレーナーの協力を得ながら、地域住民（35歳～64歳対象）の健康（医療）講座を実施しました。
- 地域のインフォーマルサービスを周知するため、ケアマネ向けに「インフォーマルサービスを知ろう」を開催しました。
- 区レベル地域ケア会議などを通し、地域の見守りツールについて検討につなげました。

② 医療・介護の連携推進支援

- 区役所主催の「在宅高齢者サポートネットワーク（区レベル地域ケア会議）」に参加し、ケアマネと医療関係者・地域の福祉保健関係者・警察や消防などの公共機関との情報交換や連携に努めました。
- 中屋敷地域ケアプラザと共催で、「瀬谷消防署とケアマネとの交流会」を開催しました。
- 区内5包括共催で「ケアマネと病院ソーシャルワーカーとの連絡会」を開催し、顔の見える関係作り・医療と介護の連携についての話しあいを行いました。
- 地域密着型通所介護事業所とケアマネとの交流会を行い、各事業所の特色や事例検討を行いました。
- 瀬谷区医師会にて開催されている事例検討会に参加し、医療ニーズの高いケースに対して事例検討を行いました。
- 医師会・薬剤師会・歯科医師会とケアマネの勉強会（交流会）をケアマネットと共催で開催しました。
- 医療機関情報の改訂を行い、その機会に、医療機関への訪問を行い情報交換を進めました。
- 認知症連携において、地域の医院を訪問し、ツールの活用などや現状について確認しました。
- 5包括合同で「ヘルパーとケアマネの交流会」を実施し、訪問型生活援助サービスについての現状と情報交換を行いました。

③ ケアマネジャー支援

- 面接・電話などを中心に、ケアマネからの相談対応を行い、相談内容に応じて、同行訪問やカンファレンスを実施しました。また、制度に関する質問などにも随時対応しました。
- 支援困難ケースに関しては、区との定例会議などを通して、情報共有を行い、継続的な支援をおこないました。
- 区内5包括と区にて作成した「ケアマネカレンダー」や「主任ケアマネ通信」を発行し、各居宅介護支援事業所に配布し、事業の周知や情報提供を行いました。
- 区内5包括と区役所と共催で、新任就労予定ケアマネジャー研修を行い、制度に関する説明や情報交換、業務での困り事に関するグループワークなどを行い、相互の横のつながりができるよう支援しました。
- ケアマネのスキルアップを目的に、隔月程度で、関係機関との交流会などを中心としたスキルアップ講座を実施しました。
- ケアマネ対象に、スキルアップと自己研鑽を目的に、インシデントプロセス方式による事例研究を行いました。
- 区社協と生活支援センターの協力を得て、区社協の事業・生活支援センターの事業紹介を行うとともに、連携が必要と思われる事例の検討を行いました。
- ケアマネがインフォーマルサービスの活用について目が向けられるよう、ケアマネ向けのインフォーマルサービスの紹介講座を実施しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 包括圏域の民生委員児童委員を対象に、障害講座を開催しました。
- 地域ケア会議を通し、医療機関・民生委員・自治会などとともに、地域のインフォーマルサービスについて情報共有し、地域資源の開発への助言等に取りくみました。
- 地域のボランティアや民生委員・児童委員との交流会を開催し、見守り体制の構築やスムーズな連携について検討しました。
- インフォーマルサービスを利用していた方の事例を基に、個別・包括レベルの地域ケア会議を実施し、インフォーマルサービスの活用や介護保険事業所の協力体制の構築などを検討し、医療・介護・地域が連携した生活支援体制整備の基盤づくりを行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 区役所と区内5包括合同で、介護予防ケアマネジメント研修を実施し、目標思考型のプラン作成に関する研修を行いました。
- 今年度作成した「インフォーマルサービスマップ」を随時ケアマネなどに配布するとともに、地域ケア会議の事例においても、インフォーマルサービスを利用している事例を用い、意識づけを行いました。
- ケアマネスキルアップ講座「インフォーマルサービスを知らう」にて、エリア内のインフォーマルサービスを広く周知するとともに、意見交換を行いました。
- 区社協・生活支援センターの事業周知を行い、サービスの有効活用と本人だけでなく、家族支援の視点も入れた講座を実施しました。
- シニアクラブの若手リーダー研修にて、地域包括ケアシステムについて〇×クイズを用い、説明会を行いました。
- 介護予防計画の作成に協力をいただいている事業所と常時電話・面接などを通し、連携を図りました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

【元気づくりステーション】

- 「あったかハート元気会」では、年度始めの定例会にて介護保険制度について話を行い、また毎月の運動だけでなく、ポッチャやカラーリング、体力測定イベントを盛り込みながら参加者同士の交流も盛んに行うことができました。

【フォローアップ講座】

- 「ユーカーリの会」では体力測定会、「男めし」では栄養、「金曜会」では栄養と医療講座を実施することができました。

【出前講座】

- 第七町内会ではクリスマス会で出前講座を実施し、継続的な介護予防の普及啓発を行う機会となりました。
- 第二町内会ではシニアクラブの第二相和会で尿漏れ予防講座を開催しました。ケアプラザでも開催していますが、今回相沢地区での開催要望があり開催した結果、相和会での定期的な介護予防研修会が毎年度行われることになりました。
- 地域のサロンやシニアクラブへ積極的に出向き健康について講話・体操・脳トレ等実施。出張講座後相談に繋がり、介護保険申請やインフォーマルサービスに繋がる方もいました。

【こつこつ元コツ】

○ケアプラザ(第四地区)にて4回連続講座、ふるさとホーム(相沢地区)にて3回連続講座で実施しました。

男性に多く参加していただきたいという思いもあり、『お酒と上手な付き合い方』をテーマにし、栄養・口腔・運動講座を連続にて実施しました。ケアプラザ・ふるさとホームで同じ内容で実施することで、参加者が場所や日程を選ぶことができたため、参加しやすいという声や、相沢地区でも継続的に介護予防講座を実施してほしいという要望がありました。

【体力測定会】

○東野園にて毎週虹のかけはしが体操を行っていますが、春と秋に体力測定を実施しました。今年度初めての取り組みでしたが入居者は楽しみながら参加しました。(今後も継続予定)

○ユーカリの会の体力測定会は毎年1回の実施でしたが、年2回の希望があり次年度は春・秋の実施予定となりました。

○瀬谷小学校の体力測定会では、初めての相沢地区での実施だったこともあり、初めて体力測定に参加したという方が多くいました。アンケート結果から、近くで行っているところがあまりないため、継続を希望する声も多く聞かれました。

【その他の自主事業】

○昨年度の自主事業実施後のアンケート結果から尿モレ予防講座を2回連続講座で実施し、25名参加と好評。理学療法士・作業療法士とタイアップし、自宅でできる体操をお伝えし、介護予防の取組みを継続的に行うきっかけづくりとなりました。

5 その他

○BCP(災害時事業継続計画)、特別避難場所のマニュアルの改訂や備蓄の整理、安否確認リストの整備などを行い、所内の災害時の体制を整えました。

○今年度はさらに5職種の連携が進み毎朝の課題あるケースの情報を共有するための打ち合わせ会が継続する事により、個別の課題への共通の対応意識が高まっています。

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

指定管理者として公の施設を公平・公正に管理しました。

- (1) 地域の方々が安心して利用できる施設となるよう、日常清掃や定期清掃はもとより、日々の点検業務など、衛生的で清潔な施設の維持管理に努めました。
- (2) 電気・消防設備・エレベーターなどの維持管理については、専門業者による業務委託を行い適切な管理を行うとともに、せやまる・ふれあい館内の各施設と費用按分により経費を負担しました。
- (3) 施設の補修や修理について、瀬谷区役所との事前協議により実施するとともに館内の共有スペースに関しては、瀬谷区役所および「せやまる・ふれあい館管理委員会」と十分に協議し連携を図りながら、適切に対応しました。
- (4) 施設利用者の方々への利便性を考え、各部屋の空き状況を施設の掲示板で周知しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- (1) コピーや印刷は裏紙で済むものは積極的に裏紙を利用し、コピー用紙購入についてはリサイクル用紙を購入しました。
- (2) 空調温度の基本設定を夏は28℃、冬は20℃としましたが、利用者や来館者の年齢や体調等に合わせて、臨機応変に温度設定を調整しました。
- (3) 利用の無い部屋は消灯を徹底し、天候により太陽光で照度が十分に得られる場合は、廊下等の照明を一部または全部消灯を進めました。
- (4) 館内の各トイレは自動照明や自動水栓が設置されており、全館を挙げて節電・節水に取り組みました。
- (5) パソコンは節電設定して、離席時の無駄な電力消費を予防しました。
- (6) せやまる・ふれあい館に雨水タンクを設置して、植栽の水やりなどに雨水を使用することで節水に取り組みました。
- (7) 業務委託における指名競争入札において業者指名にあたり、中小企業を優先して指名しました。
- (8) 運営法人が市内で複数の指定管理施設を受託している利点を活かし、引き続き、建物・設備保守管理業務契約等の一括入札が可能な契約を集約し、効率的な運営費の執行に努めました。また、備品・消耗品についても一括購入するなどし、経費の節減に努めています。
- (9) 施設利用団体交流会（2回）により、利用者の意見・要望を伺うと共に、各団体の情報交換の機会を持ち、横の繋がりのきっかけ作りをしました。

(3) 苦情受付体制について

- (1) 利用者個人の尊厳を尊重し、利用者の権利を擁護する仕組みとして苦情解決を位置づけ、サービスや事業の質の向上につなげました。
- (2) 苦情受付担当者と苦情実務責任者を情報掲示板や貸館の室内に掲示し、利用者に対して苦情受付の体制を周知しました。
- (3) 法人の持つ「苦情相談対応マニュアル」に沿って苦情受付の体制を整えました。受付担当者（主任）→実務責任者（所長）→所管部長→苦情解決推進チーム→総括責任者という流れで苦情の解決にあたる体制を取りました。
- (4) 各部門でアンケート調査を行い、利用者の方々から意見や要望をお聞きする機会をつくり、頂いたご意見を基に、改善に繋げるよう館内に掲示するとともに利用団体交流会での説明も行いました。
- (5) 館内2カ所に「ご意見箱」を設置して、日頃からケアプラザやせやまる・ふれあい館に関する意見や要望が届く仕組みを整えています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

【防 犯】

防犯について、日中は各部屋の点検時に職員が見回り、閉館時も最終見守りをし、閉館後は、機械警備システムにより夜間の異常発見に備えました。

- (1) 職員が貸館利用後の点検等で館内を見回る際、不審者の侵入がないことも併せて確認しました。
- (2) せやまる・ふれあい館各団体で共有の「不審者対応マニュアル」を作成し、全職員に配布し周知しており、対応を全体会議で再度確認しました。

【防 災】

防災について、職員緊急連絡網の作成と自衛消防組織の設置により、火災や災害発生時に備えています。また、防犯や防災に関して緊急時対応のため、以下の事に取り組みました。

- (1) 防災・消火・避難訓練等を2回実施（1回はせやまる・ふれあい館合同の訓練・2回目は避難訓練中心）
- (2) 日頃から地域の行事や防災訓練に積極的に参加し、職員と地域の方々と顔の見える関係をつくることで、災害時など非常時に相互に協力し合える関係性を築き有事に備えました。
- (3) 職員連絡網や法人内の管理職連絡網・区関係の緊急時連絡網により、有事の際速やかに情報伝達が職員全体に行き渡るようにしています。
- (4) 災害時の福祉避難所として、その役割を認識し、防災備蓄物資の適正な保管管理を行うとともに、避難所運営に必要な人員の確保および役割が果たせるよう、参集訓練などを実施し体制づくりを進めました。
- (5) 発災後、緊急対応から復旧まで、円滑に行うため、BCP（事業継続計画）を整備し、職員内で内容を共有し、対応方法を検討しました。

(5) 事故防止への取組について

法人が運営する他の施設の事故報告を事例に当施設でのリスクを確認することで再発防止に向けた検討・対応を行い事故防止に役立てました。

- (1) 事故や事件・事務ミス等の発生防止のため、毎月の定例職員会議で、法人内で発生した事故事例や当ケアプラザ内でのヒヤリハット・事務ミスについて振り返り、業務改善等につなげました。
- (2) 昨年度再整備した、事故対応マニュアル（ヒヤリハット含む）をはじめとする、各種マニュアルを再度全職員に確認し定着させました。
- (3) 毎日の朝礼・夕礼での申し送りを通し、ヒヤリハット発生の情報収集を行い、報告の案件があれば、その場で原因や対応策などを検討しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

(1) 法人内で実施する個人情報保護研修に、毎年、管理職または職員が出席し、受講後は、職員会議において伝達研修を実施し、職員に対して個人情報の取り扱いや人権尊重に係る意識の向上に努めました。

- (2) 個人情報取扱いの管理責任者を所長とし、館内に掲示し、周知しました。
- (3) 個人情報が含まれるケースファイル・データ保存の媒体等は施錠管理を徹底し必要時以外の外部への資料の持ち出しや机上放置を防止しました。
- (5) パーソナルコンピュータは盗難防止のため、ワイヤーと鍵で固定しました。
- (6) 契約書・フェイスシート・介護保険申請書等の書類は、外部への持ち出しが必要なため、出かける前に「持出簿」に情報内容を記入し、事務所に戻った際、持ち帰った個人情報を他の職員が確認し、「持出簿」に記録しました。
- (7) 担当者の不在時の事後連絡や外部からの相談・問い合わせ等に使用する連絡ノート（各部門別）については、夜間は、施錠のできる保管庫で管理しています。

(7) 情報公開への取組について

法人の「保有する情報の公開に関する規程・規則」に基づき、情報公開への対応を行っています。また、法人本部や法人運営のケアプラザ等施設の運営状況や事業情報については、ホームページや広報紙などの媒体を用いて情報を発信しました。

- (1) 情報公開に際しては個人の不利益にならないこと、責任者の判断を得ること等を徹底しました。
- (2) 個人のプライバシー情報や法令等の規制で公にすることが出来ない情報など、開示できないものを明確にしました。
- (3) 閲覧用の予算書・事業計画書、決算書・事業報告書を「ご意見箱」記入台に設置し、個人情報取扱業務概要説明書を受付窓口に設置しました。
- (4) 受付窓口前に、情報コーナーを設置して地域の情報や事業チラシなどの広報紙やポスターなどの掲示をし、常に最新の情報が提供されるよう更新しています。
- (5) ケアプラザの広報紙や開催事業のチラシを、各連合自治会町内会の定例会や地区社協会長会議等で説明し、自治会町内会の協力により、掲示板への掲示と地域回覧を行いました。

(8) 人権啓発への取組について

- (1) 重症心身障害児余暇支援事業（みーとすまいる）を 2 回実施し、地域への周知を行うことで障害者理解の促進を図りました。
- (2) 認知症高齢者に関する講座や講習会を実施し、地域に認知症理解の輪を広めています。
- (3) 法人の実施する、人権啓発研修を基に所長・職員が説明者となって、職場内研修として、児童虐待や障がい者の状況についての全員研修を行い、内部啓発に努めました。
- (4) 周辺の三ツ境養護学校を始めとして、区内の地域作業所などの、野菜やパン販売などを毎週せやまる・ふれあい館 1 階での販売を促進し、地域の来館者の方々に障がい者理解の輪を広げました。
- (5) エリア内の 2 地区の地域福祉保健計画の柱として「障がい者の理解促進」を掲げていることもあり、地域の住民を対象にした理解促進講座等の事業の支援を進め、さらに第四地区で実施した「認知症高齢者徘徊ネットワーク・徘徊シミュレーション」への支援をすすめました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- (1) コピーや印刷は裏紙で済むものは積極的に裏紙を利用し、コピー用紙購入についてはリサイクル用紙を購入しました。
- (2) 空調温度を夏は 28℃、冬は 20℃の基本的な設定にしました。
- (3) 利用の無い部屋の消灯を徹底し、廊下や事務所内の電気は天候により不要箇所は消灯しました。
- (4) 館内の各トイレは自動照明や自動水栓が設置されており、全館を挙げて節電・節水に取り組みました。
- (5) パソコンは節電設定して、離席時の無駄な電力消費を予防しています。
- (6) せやまる・ふれあい館に雨水タンクを設置して、植栽の水やりなどに雨水を使用しています。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

《職員体制》

- 管理者 主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務）
- 保健師等 1名（常勤兼務）
- 社会福祉士 1名（常勤兼務）

《目標に対する成果等》

要支援1,2と認定された地域の高齢者に対し、目標思考型のケアプランを作成します。また、本人の意欲を高め、介護保険サービスのみならず、インフォーマルサービスなどの情報提供を行い、より本人の意欲を反映できるようにし、生活の質の向上を目指しました。

委託事業所に向けて、総合事業の理解・啓発を図り、滞りのないサービス利用が行えるよう、連絡・調整を行いました。

《実費負担》

なし

《その他》

- (1) 地域のケアマネジャーや地域のインフォーマルサービスに関わる方との連携を図り、双方の情報共有を密にし、インフォーマルサービス等を盛り込んだ計画が出来るよう支援を行いました。
- (2) 地域の介護予防支援事業者を対象とした介護予防に関する勉強会や研修を企画し、目標を掲げた予防ケアプランを作成するためスキルアップを進めました。

《利用者実績》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
154	156	165	168	160	170
10月	11月	12月	1月	2月	3月
157	160	168	165	169	162

●居宅介護支援事業

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 介護支援専門員 5名（常勤1名、非常勤4名）

《目標に対する成果等》

利用者の意思を尊重し、心身の状況や環境等に応じて可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活（要介護状態の予防・軽減または悪化の防止など）ができることを支援しました。
また、良質なサービスが提供されるよう、常に利用者の立場に立ち公正中立な支援をしました。

《実費負担》

なし

《その他》

- (1) 利用者の個別性を尊重し、個々のニーズに沿ったサービス計画を作成し、ボランティア活動など地域の活動を含めた適切な地域の情報を提供しました。
- (2) 個人情報に配慮しながら複合施設の特徴を生かし、必要な情報を利用者に伝えて地域支援が問題解決につながるよう積極的に関わりました。
- (3) 当事業所は地域包括支援センター（以下、包括という）と併設されているため、地域包括ケアシステムの観点から積極的に協力し、実現に向けて協働しました。

《利用者実績》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
介護	1 1 3	1 1 3	1 1 3	1 1 7	1 1 8	1 1 6	
予防 総合	3 1	3 4	3 4	3 3	3 1	3 2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	1 1 9	1 2 2	1 2 7	1 2 2	1 2 0	1 2 3	1 4 2 3
予防 総合	3 3	3 2	3 3	3 4	3 2	3 3	3 9 2

平成28年度ニッポン第二地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,753,280	△ 335,437	19,417,843	19,417,843	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	6	△ 6	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	6	△ 6	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	19,753,280	△ 335,437	19,417,843	19,417,849	△ 6	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,716,000	0	10,716,000	9,234,163	1,481,837	
本俸	8,074,000		8,074,000	7,407,220	666,780	
社会保険料	0		0	589,817	△ 589,817	
手当計	353,000		353,000	1,222,949	△ 869,949	
健康診断費	0		0	7,427	△ 7,427	
勤労者福祉共済掛金	704,000		704,000	6,750	697,250	マニマニ基金
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
その他	1,585,000		1,585,000	0	1,585,000	
事務費	3,309,000	0	3,309,000	2,337,001	971,999	
旅費	80,000		80,000	18,960	61,040	
消耗品費	700,000		700,000	547,055	152,945	
会議随費	50,000		50,000	0	50,000	
印刷製本費	150,000		150,000	72,588	77,412	
通信費	500,000		500,000	375,870	124,130	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	400,000		400,000	39,733	360,267	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000	6,219	53,781	
職員等研修費	15,000		15,000	13,508	1,492	
振込手数料	200,000		200,000	0	200,000	
リース料	100,000		100,000	63,478	36,522	
手数料	8,000		8,000	8,264	△ 264	
地域協力費	500,000		500,000	15,000	485,000	
その他	546,000		546,000	1,176,326	△ 630,326	
事業費	568,000	0	568,000	94,418	473,582	
運営協議会経費	42,000		42,000	8,263	33,737	予算：指定額
指定管理料充当 事業	526,000		526,000	86,155	439,845	
管理費	4,303,000	0	4,303,000	3,746,176	256,678	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	1,496,000	0	1,496,000	1,195,854	0	
電気料金	500,000		500,000	500,000	0	
ガス料金	500,000		500,000	500,000	0	内訳が一致していません
水道料金	496,000		496,000	496,000	0	
清掃費	2,333,000		2,333,000	1,137,031	1,195,969	
修繕費	474,000	0	474,000	138,563	335,437	予算：指定額
機械整備費	0		0	161,669	△ 161,669	
設備保全費	0	0	0	563,262	△ 563,262	
空調衛生設備保守	0		0	40,826	△ 40,826	
消防設備保守	0		0	149,694	△ 149,694	
電気設備保守	0		0	307,915	△ 307,915	
害虫駆除清掃保守	0		0	48,991	△ 48,991	
駐車場設備保全費	0		0	15,836	△ 15,836	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	549,797	△ 549,797	
公租公課	857,280	0	857,280	738,733	118,547	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	857,280		857,280	738,733	118,547	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,753,280	0	19,753,280	16,150,491	3,302,643	
差引		△ 335,437	△ 335,437	3,267,358	△ 3,302,649	

自主事業費収入	526,000		526,000	0	526,000	予算：指定管理料を含む
自主事業費支出	526,000		526,000	86,155	439,845	
自主事業収支	0	0	0	△ 86,155	86,155	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	15,836	△ 15,836	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	△ 15,836	15,836	

平成29年度「ニッ橋第二地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,692,000	△ 194,171	23,497,829	23,497,829	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 229,679	5,559,321	5,559,321	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	14,800	△ 14,800	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	29,632,000	△ 423,850	29,208,150	29,222,950	△ 14,800	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,343,000	0	25,343,000	27,099,151	△ 1,756,151	
本俸	17,830,000		17,830,000	14,745,200	3,084,800	
社会保険料	0		0	3,366,996	△ 3,366,996	
手当計	3,345,000		3,345,000	7,917,697	△ 4,572,697	
健康診断費	0		0	33,608	△ 33,608	
勤労者福祉共済掛金	3,613,000		3,613,000	28,250	3,584,750	へまふれんど
退職給付引当金繰入額	0		0	1,007,400	△ 1,007,400	
その他	555,000		555,000	0	555,000	
事務費	1,632,000	0	1,632,000	898,719	733,281	
旅費	90,000		90,000	34,656	55,344	
消耗品費	250,000		250,000	49,766	200,234	
会議購い費	50,000		50,000	5,500	44,500	
印刷製本費	150,000		150,000	12,289	137,731	
通信費	343,000		343,000	199,098	143,902	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	0	200,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	1,654	48,346	
職員等研修費	70,000		70,000	44,858	25,142	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	277,000		277,000	16,874	260,126	
手数料	50,000		50,000	19,470	30,530	
地域協力費	50,000		50,000	0	50,000	
その他	52,000		52,000	514,574	△ 462,574	
事業費	1,512,000	0	1,512,000	1,117,664	394,336	
協力医	630,000		630,000	525,000	105,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	422,000		422,000	143,401	278,599	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	298,263	10,737	予算:指定額
管理費	1,145,000	0	1,145,000	995,805	467,080	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	398,000	0	398,000	317,885	398,000	
電気料金	150,000		150,000		150,000	
ガス料金	98,000		98,000		98,000	内訳が一致していません
水道料金	150,000		150,000		150,000	
清掃費	621,000		621,000	302,247	318,753	
修繕費	126,000		126,000	36,829	89,171	予算:指定額
機械備償費	0		0	42,975	△ 42,975	
設備保全費	0	0	0	149,724	△ 149,724	
空調衛生設備保守	0		0	10,852	△ 10,852	
消防設備保守	0		0	39,792	△ 39,792	
電気設備保守	0		0	81,849	△ 81,849	
害虫駆除清掃保守	0		0	13,022	△ 13,022	
駐車場設備保全費	0		0	4,209	△ 4,209	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	146,145	△ 146,145	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他()	0		0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	29,632,000	0	29,632,000	30,111,339	△ 161,454	
差引	0	△ 423,850	△ 423,850	△ 888,389	146,654	

自主事業費収入	882,000			14,800		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	882,000			592,664		
自主事業収支	0			△ 577,864		→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			4,209		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 4,209		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: ニツ橋第二地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	4666	17930		
	その他	4963	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント 費	4963	0		
	事業・負担金収入	0	0		
	その他				
収入合計(A)		9629	17930	0	0
支出	人件費	0	16544		
	事務費	0	80		
	事業費	0	449		
	管理費	0	857		
	その他	7616	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0		
	消費税	0	0		
	介護予防プラン委託料	7616	0		
	その他				
支出合計(B)		7616	17930	0	0
収支 (A) - (B)		2013	0	0	0

平成29年度 自主事業報告書

横浜市ニッ橋第二地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネジャー スキルアップ講座	各機関との連携を重視しながら、包括エリア内で活動するケアマネジャーのスキルアップを目標とした講座を開催しました。 ①ケアマネジャーと瀬谷消防署救急隊との交流会 ②ケアマネジャーと地域密着型通所介護の交流会 ③瀬谷区社会福祉協議会と生活支援センターの業務について ④インシデントプロセス方式による事例研究 ⑤ニッ橋第二ケアプラザのインフォーマルサービスを知ろう	6, 7, 9, 11, 1月 (5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー と病院医療相談 員(MSW・SW)交 流会	病院MSWとケアマネジャーが、お互いの役割を理解し、より中身のある連携が図れるよう支援と顔の見える関係づくりを行いました。	10月(1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医師会・歯科医 師会・薬剤師会 との交流会	薬剤師からの居宅療養管理の説明を中心に、医師会・薬剤師会・歯科医師会とケアマネジャーが有効な連携が図れるようにするため交流会を行いました。	2月(1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員・ケア マネジャー交流 会	事例を介して、ケアマネジャーと民生委員とが関わりのある架空事例を基にグループワークを行うことで、顔の見える関係を構築し、日常的な連携を図れるようにしました。	2月(1回以上)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任・就労予定 ケアマネジャー 支援	瀬谷区で新しくケアマネジャー業務に就く、新人ケアマネジャーが業務を円滑に進めていけることを目的として開催しました。 (第1回) ①介護保険制度について ②横浜市一般行政サービスについて ③瀬谷区社会福祉協議会の事業について ④地域包括支援センターの役割 (第2回) 新任ケアマネジャーの困り事・心配事	6、2月(2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
訪問介護事業所 とケアマネ ジャーの連絡会	横浜市訪問型生活援助サービスの理解と利用促進とともに、お互いの立場で依頼したいことなどを情報交換にて確認し、有機的な連携を図れるようにしました。 ①横浜市訪問型生活援助サービスの現状について ②情報交換(お互いの立場でお願いしたいこと)	1月(1回)

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
～高齢者のための～ 上手な車とのおつきあい	<p>【目的】 平成29年3月12日に施行された改正道路交通法の改正ポイントや注意点を学び、将来訪れる運転卒業後の生活について今のうちから考えるきっかけとする。</p> <p>【内容】 ○高齢ドライバーの事故の特徴 ○高齢ドライバー（75歳以上）の免許制度の変更について ○運転卒業後の生活について</p>	5月（1回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
備えあれば憂いなし！尿もれ予防体操	<p>【目的】 アンケートや相談内容で多くなっている「尿もれ」に焦点をあて、尿もれ予防について勉強していただくきっかけ、骨盤底筋体操を通し予防や改善していただくきっかけ作りを行う。</p> <p>【内容】 ○ユニ・チャームの方より尿もれについて、骨盤底筋体操、尿取りパットの紹介 ○横浜相原病院PT/OTより骨盤底筋体操・ながら体操</p>	6月（2回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい「ふれあい」	<p>【目的】 介護者が心身のリフレッシュや介護者同士の交流、情報交換を行うことで、孤立することなく介護が続けられることを目的とする。</p> <p>【内容】 第1回「知っておきたい！介護施設情報」 5/16 第2回「ゆるやか認知症介護のススメ」 7/18 第3回「～食べたものが身体をつくる～低栄養予防のススメ」 9/19 第4回「～話を聞いて気持ちを楽に～先輩介護者の体験談」 11/21 第5回「おいしいおやつとお茶でほっこり ふれあいカフェタイム」 1/16 第6回「介護者の健康づくり 脳トレ&リズム体操」 3/20</p>	5, 7, 9, 11, 1, 3月 (5回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気なうちから 老いじたく講座	<p>【目的】 自分や家族の老後について考え、今後の人生をその人らしく生きるためのきっかけとする。</p> <p>【内容】 第1回「瀬谷区版エンディングノートの書き方講座」 6/20 第2回「介護保険制度のい*ろ*は」 7/15 第3回「必要性がわかる！遺言・相続の講座」 7/28</p>	6, 7月（3回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
心も身体も元気に こつこつ元コツ（ふるさとホーム瀬谷実施）	<p>【目的】 65歳以上のエリア内住民に対し、介護予防の知識と実技について学ぶ機会の提供、住民自ら継続的に介護予防の活動について取り組める様、地域の活動グループ等につなげる。また、男性をターゲットに参加しやすい内容で実施、ケアプラザから遠い方も介護予防講座を受けることのできる様実施。</p> <p>【内容】 9/1 講話：お酒と上手な付き合い方（協力医） 講話・調理実習：おつまみ作り（管理栄養士） 9/8 口腔：歯周病が全身に及ぼす影響・効果的な歯の磨き方（歯科衛生士） 9/15 運動：筋力アップ体操（セラバンド・コグニサイズ）（運動指導士）</p>	9月（3回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みーとすまいる	<p>【目的】 三ツ境養護学校に通う重症心身障害児を対象に、余暇支援事業を実施する。この事業の目的は、「安心・安全な環境で子どもたちが学校外で社会とかかわる場」を提供することとし、また障害支援のボランティアの育成・支援も合わせて行う事業とする。なお、ボランティア育成については、講習会を実施することで、障害についての理解を深め、余暇支援事業への導入と位置付ける。</p> <p>【内容】 7/30 第1回みーとすまいる：音楽を中心とした余暇支援プログラム 3/25 第2回みーとすまいる：親子・ボランティアで楽しめるストレッチや簡単スポーツ</p>	7, 3月（2回）

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
瀬谷第四地区女性のボランティア研修	<p>【目的】 平成26年度にサービスを開始した家事支援グループ「瀬谷第四地区女性のボランティア」に携わるボランティアを対象に、緊急対応について学び、健全に活動に取り組めるよう支援することを目的とする。また、専門職を講師とすることで、専門職とインフォーマルサービスの連携を深めることを目的とする。</p> <p>【内容】 ヘルパーサービス事業所のサービス責任者による緊急対応の事例紹介と事例検討。(7/10) 認知症対応研修(2/12)</p>	7,2月(2回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
心も身体も元気に こつこつ元コツ (プラザ実施)	<p>【目的】 65歳以上のエリア内住民に対し、介護予防の知識と実技について学ぶ機会の提供、住民自ら継続的に介護予防の活動について取り組めるよう、地域の活動グループ等につなげます。また男性をターゲットに参加しやすい内容にて実施。</p> <p>【内容】 10/3 口腔：歯周病が全身に及ぼす影響・効果的な歯の磨き方(歯科衛生士) 10/10・11/14 運動：筋力アップ体操(セラバンド・コグニサイズ)(運動指導士) 10/17 講話・調理実習：おつまみ作り(管理栄養士)</p>	10,11月(4回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
体力測定会(東野園)	<p>【目的】 65歳以上のエリア内住民に対し、介護予防の知識と実技について学ぶ機会の提供、住民自ら継続的に介護予防の活動について取り組めるよう、地域の活動グループ等につなげます。また男性をターゲットに参加しやすい内容にて実施。</p> <p>【内容】 10/3 口腔：歯周病が全身に及ぼす影響・効果的な歯の磨き方(歯科衛生士) 10/10・11/14 運動：筋力アップ体操(セラバンド・コグニサイズ)(運動指導士) 10/17 講話・調理実習：おつまみ作り(管理栄養士)+R146</p>	10月(1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
体力測定会(瀬谷小学校)	<p>【目的】 日頃から運動を行っている方への現在の身体能力を測定することで、今後の運動方法等に意識し取り組みを行うことができる様、また日頃から運動の習慣がない方については、今後運動を始めるきっかけとなる様に開催。</p> <p>【内容】 体力測定：握力・長座体前屈・開眼片足立ち・5m歩行・全身反応 体育協会講師：ハマトレ・ウォキング</p>	11月(1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あなたもまちも元気になるボランティアカフェ	<p>【目的】 地域で活動されているサロン・配食ボランティア等を対象に以下の項目を目的とした連続講座を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動への意欲向上 ・スキルアップ(今後の活動で活かせる体操や栄養の知識など) ・ボランティアが元気づくりに取り組むことで、地域の活性化を目指す。 ・ボランティアを行うきっかけ作り ・ボランティア同士の交流をすることでネットワーク構築を図る <p>【内容】 ①活動中の事故!!あなたならどうする～危機予測と応急処置～(運動とレクリエーション) ②理学療法士・作業療法士による疲れないカラダの動かし方と予防法 ③遊んで笑ってボランティア交流会(レクを通じた交流)</p>	11,12月(3回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あいた時間でできることあなたのまちでできる社会貢献「コミュニティカフェ開設講座」	<p>【目的】 認知症カフェの機能を持ち合わせた「コミュニティカフェ」の立ち上げ、企画、運営に携わる人材の発掘・育成を目的とした、連続講座を行う。</p> <p>【内容】 第1回「わがまち、再発見!」11/2 第2回「おいしいコーヒーの淹れ方講座～基礎編～」11/30 第3回「カフェアロハ見学」12/1 第4回「おいしいコーヒーの淹れ方講座～オリジナルブレンドづくり～」12/20 第5回「認知症の方への接し方講座」1/18</p>	10,11,12,1月(5回)

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上楽老峰自治会支援「クリスマス・年末家族で楽しむワイン講座」	<p>【目的】 若い世代をターゲットとして自治会内で交流を行い、次世代の方への自治会への参加、自治会館の活用PRとなることをきっかけとした講座を行う。 また、若い世代へのケアプラザの周知と健康食の紹介を通じて健康づくりの啓発を行う。</p> <p>【内容】 講師による講話：ワインの基本知識（造られ方、グラス、選び方、保管方法等） ケアプラザのミニ講座：お酒との上手なつきあい方と生活習慣病予防</p>	12月（1回）
平成29年度健康講座「立ち向かおう！生活習慣病」	<p>【目的】 ケアプラザの事業において、若い世代が参加できる講座はまだ少ないため、比較的関心の多い生活習慣病予防について取り上げ実施します。 日々の健康づくりへつながるきっかけとして、またケアプラザの事業について知っていただくことを目的とします。</p> <p>【内容】 第1回：ストレスは万病の元！（10/21） （1）生活習慣病についてとそのリスク （2）ストレスがもたらす生活への影響 第2回：あなたの食生活は大丈夫？（11/11） 第3回：ダイエットボディメイク（11/25）</p>	10, 11月（3回）
音の駅	<p>【目的】 地域の身近な場所で、誰もが気軽に足を運べる移動コンサートを多世代向けに実施し、音楽を通じての世代間交流を図る。 また障害者施設である、せや福祉ホームを会場とし、障害理解啓発や障害者の方も参加しやすい環境づくりを目指す。</p> <p>【内容】 様々な楽器を用いた演奏と合唱を、参加者と一緒に行う。</p>	11月（1回）
せやまる・ふれあい祭り	<p>【目的】 地域ケアプラザ全体事業として、複合館内施設と共催で実施します。今年度は「お子さまからシニアの人まで、どなたでも集える地域の憩いの場であり、新たな出会いや発見は、人と人をつないでさらに地域の元気を育むこと」を目的として掲げ開催。</p> <p>【内容】 ノルディックウォーキング体験コーナー、ねんりんピックPR・競技体験コーナー、男めしのタコス販売、ふわっとサポート販売、模擬店（カレー、焼きそば、フランクフルト）、発表コーナー（影絵、空手）</p>	12月（1回）
認知症ミニ講座	<p>【目的】 地域の医師が認知症について講演を行うことで、地域住民が身近な問題として正しく理解できることを目的とする</p> <p>【内容】 認知症予防について ※介護予防事業「～心も身体も元気に～ こつこつ元コツ講座」とタイアップして実施</p>	9月（1回）
音楽のたまてばこフォローアップ講座	<p>【目的】 30年度から一部の回で担い手がお自身たちで音楽を通じた健康増進のプログラムを参加者に向けて行うこととなったため、担い手の介護予防のプログラムのスキル習得のため、脳トレや口腔ケアの手法を講師より学ぶ機会を設ける。</p> <p>【内容】 講師による講話と実技講習</p>	3月（1回）
男めしフォローアップ講座	<p>【目的】 当ケアプラザ事業OB会である男めしの技術のフォローアップを行うことにより会員のモチベーションの維持向上と充実した自主運営の継続を目的とする</p> <p>【内容】 管理栄養士による講話と実技講習</p>	1月（1回）

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コミュニティカフェ「ほっこりカフェ」プレオープン	<p>【目的】 コミュニティカフェ開設講座の参加者を担い手とし、今後のカフェの企画・運営を検討するため、カフェのプレ実施を行う。</p> <p>【内容】 ボランティアによるコミュニティカフェの開催</p>	3月（1回）
金曜会フォローアップ講座	<p>【目的】 金曜会の活動内で行われている運動の他に、馴染みある講師による医療・栄養の観点からの介護予防の知識を学ぶことにより、会員の社会参加へのモチベーションの維持向上と疾病予防や介護予防の実践の普及啓発を目的に実施</p> <p>【内容】 ①感染症予防（インフルエンザ）についての医療講話（医師） ②感染症に負けないカラダを作る栄養講座と簡単調理・試食（管理栄養士）</p>	2月（1回）
ボランティアのつどい	<p>【目的】 区内で活動されているボランティアが、区民に向けてその活動のPRや、ボランティア同士の交流を目的に開催</p> <p>【内容】 地域で活動しているボランティアグループの活動発表・紹介 キャラバンメイト、ヘルスマイトの活動紹介 岩手県釜石市でのボランティア活動報告 中高生ボランティア活動報告会 模擬店、作業所販売等</p>	3月（2回）
団体交流会	<p>【目的】 ケアプラザ登録利用団体が利用しやすい貸館を運営していくために団体が貸館についての利用方法やルールの確認を行ない、ケアプラザが団体からの要望や質問を受け、ケアプラザと利用団体とが相互にコミュニケーションを図れる機会をつくる。</p> <p>【内容】 ・ケアプラザのご利用にあたって、お部屋や機材の貸出等における確認事項、変更点について説明。 ・平成29年度 利用者アンケートのご報告 ・質疑応答 ・グループ交流タイム</p>	3月（1回）
親子でぎゅーつとスキンシップ	<p>【目的】 ケアプラザと保育園、地域子育て支援拠点が共催で、地域の子育て家庭を対象に開催。関係機関との連携強化や地域の親子との交流の場、親子でふれあいを楽しむ場づくりを目的とする。</p> <p>【内容】 保育士によるふれあい遊び</p>	1月（1回）

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **ニッ橋第二地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
健康講座「立ち向かおう生活習慣病」	①地域住民	28,747	地活	16,247			12,500	3,747	
	21		包括	12,500			12,500		
	0		生活						
せやまるふれあい祭り	①地域住民	29,000	地活	29,000			10,000	19,000	
	454		包括						
	0		生活						
音の駅	①地域住民	3,000	地活	3,000			3,000		
	17		包括						
	0		生活						
みーとすまいる	①地域住民	10,800	地活	10,800			10,800		
			包括						
	0		生活						
音楽の玉手箱	①ボランティア	5,000	地活	5,000			5,000		
	9		包括						
	0		生活						
上楽老峰自治会出前講座	①地域住民	7,000	地活	7,000			7,000		
	38		包括						
	0		生活						
コミュニティカフェ	①地域住民・ボランティア	128,717	地活	12,148			50,000	12,148	
	122		包括	97,492				47,492	
	200		生活	19,077				19,077	
ボランティアのつどい(ブローダーツ体験)	①地域住民	2,960	地活	2,960				2,960	
	300		包括						
	0		生活						
介護者のつどい「ゆるやかな認知症講座」	①地域住民	5,000	地活				5,000		
	13		包括	5,000					
	0		生活						
介護者のつどい「低栄養介護のススメ」	①地域住民	14,567	地活				12,000		
	11		包括	14,567				2,567	
	0		生活						
金曜会応援講座	①地域住民	2,390	地活						
	12		包括	2,390			2,390		
	0		生活						
介護者のつどい「ふれあいお茶タイム」	①地域住民	554	地活						
	11		包括	554			554		
	0		生活						
ケアマネジャースキルアップ講座「インフォーマルサービスを知らう」	①ケアマネジャー・ボランティア	1,966	地活						
	37		包括	1,966			1,966		
	0		生活						
民生委員とケアマネジャー交流会	①ケアマネジャー・民生委員	3,932	地活						
	56		包括	3,932			3,932		
	0		生活						
介護者のつどい「脳トレ&リフレッシュ体操」	①地域住民	5,000	地活				5,000		
	8		包括	5,000					
	0		生活						
ボランティアカフェ	①ボランティア	46,760	地活						
	43		包括	510			510		
	0		生活	46,250			43,000	3,250	